

有田ロータリークラブ創立50周年記念事業

音楽劇「中将姫物語」

有田ロータリークラブは、創立50周年を迎え2月に式典を行いますが、その記念事業として昨年11月29日有田市民会館大ホールにて音楽劇「中将姫物語」を開催しました。

有田市、有田市教育委員会と協力し、「心の中に残る記念事業」として地元の中学生にミュージカルでふるさとの歴史、文化にふれてもらい有田のすばらしさを再認識してもらうことを目的として行ったものです。

劇は有田市の音楽集団「実遊」が制作した手作り音楽劇で、箕島高校吹奏楽部が演奏の一部を担当し、中学生や小学生等も中将姫を導く村の子役やコーラス隊として出演しました。

音楽劇「中将姫物語」は、品格に富み、観ている人の心を打つすばらしい内容で、900有余名の中学生の心を健全に育成させるすばらしい音楽劇でした。一生懸命練習した高校生オーケストラ、中学生コーラスは実に立派でした。中将姫の美声と、瀬雲の自害するシーンには、感動させられました。中将姫と離れ離れになっていた父藤原豊成との再会のシーンでは、感激で会場より自然と拍手がわき起こりました。名前しか知らなかった中将姫でしたが、この音楽を聴いて、いっぺんに中将姫ファンが増えたように思います。

当日の様子は、産経新聞に「命の尊さ、歴史文化再認識 ミュージカル「中将姫物語」中学生ら鑑賞」との見出しで掲載されました。

